



【教 育 目 標】 かんがえる子ども・なかよくあそぶ子ども・たくましい子ども

指導の重点

育ちの目安

ねらい・内容

成長の姿

心わくわく体いきいきに視点を当てて

主な★環境構成・★援助

3 歳児

教師との信頼関係を基盤に、安心感をもって幼稚園生活を送る。

幼稚園で安心して過ごし、楽しさを感じる。

<3 歳児前期>

事例 1

- ◎自分のしたいことを楽しむ中で、安心して思いや動きを出す。
- ◎幼稚園生活の仕方を知り必要なことを教師と一緒にしたり、自分でやってみようとしたりする。
- ◎教師に親しみを感じ、安心して生活する。
- ◎興味のあることに自分から関わって遊ぶ。
- ◎自分なりの方法で思いを出そうとする。
- ◎基本的な生活習慣を身に付ける。

身の回りのことが少しずつできるようになり、自分らしさを発揮する。

<3 歳児後期>

事例 2

- ◎いろいろな環境に興味・関心をもって関わり、じっくり遊ぶことを楽しむ。
- ◎教師や友達と一緒に遊んだり、関わったりすることを楽しむ。
- ◎遊びや生活の中で、自分でできた喜びを感じる。
- じっくり遊んだり繰り返して楽しむ。
- 自分の思いを自分なりの表し方でのびのびと表す。
- 友達と同じ場で遊ぶこと、やりとりをすること、同じ動きをすることなどを楽しむ。
- 安心して生活する中で、自分でできることや必要なことをやってみる。
- 教師に親しみをもち、一緒に遊んだり関わったりすることを楽しむ。

出会いいっぱい。先生大好き。この遊び面白い！あんなこともやってみよう！自分でできた。幼稚園楽しい！

- ☆一人一人と丁寧に関わり、信頼関係を築く。
- ☆個人差や経験差を十分考慮し、あるがままの姿を受け入れる。
- ★興味をもった遊具を満足いくまで使って安心して遊べるよう、一人一人に応じていく。
- ★安心して生活できる分かりやすい環境を工夫する。
- ★家庭での経験を基盤に生活の組み立てや遊具用具の提示を行う。
- ☆動きや気持ちを受け止め、共感する。
- ☆幼児も保護者も安心感をもって園生活を送れるよう、家庭との連携を密に行う。

- ☆教師との信頼関係を基盤に安心して思いや自分なりの動きを出せるよう、個々の姿や表現を受け止める。
- ★様々な環境に関わり、興味をもったことを繰り返し安心して楽しめる環境を構成する。
- ★やりたいことが実現できる遊具・素材・場・などを提示・保証する。
- ★身近な栽培物や自然物を身近に見たり触れたりできる環境を整える。
- ★2 学級合同で楽しむ活動や場を、実態や人数などに応じて計画的に取り入れる。
- ☆園内の様々な場を活用し、体を動かすことを繰り返し楽しめるようにする。
- ☆やってみたいと思える活動の提示や、できたという実感や自信がもてる言葉掛けをする。

4 歳児

興味・関心を広げ、友達と関わりながら、遊ぶことを楽しむ。

新しい環境に慣れ、友達と関わったり、自分を出したりしながら興味・関心を広げていく。

<4 歳児前期>

事例 3

- ◎思いや考えをもってじっくり遊ぶことを楽しむ。
- ◎遊びや生活の中で、友達や教師との関わりを楽しみ、思いを伸び伸びと表わそうとする。
- ◎身近な環境に進んで関わったり、生活の中でできることに自分で取り組んだりする。
- 友達と関わりながら、一緒に遊んだり、体を動かしたりする楽しさを感じる。
- いろいろな遊びや活動に関心をもって関わる。
- 自分なりに試したり、考えたりしながら遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分でできることに進んで取り組む。

出会い広がる関わり広がる

- ☆教師や友達に親しみをもち、安心して自己発揮できるよう、信頼関係を築く。
- ★新しい場（4 歳児保育室など）に慣れ、安心感を得て主体的に生活できるよう、ディーム保育を生かし保育形態を工夫する。
- ★じっくり遊び、試したり工夫したりできるよう、遊びや場を選択できる環境を整える。
- ☆個々の興味や学級のよさやらしさを踏まえた題材を工夫し、みんなで活動する楽しさを味わえるようにする。
- ☆教師も仲間として遊びに合わせ、楽しさやイメージを共有しながら、場の調整や素材の提示などし、したいことが実現する満足感を味わえるようにする。
- ☆状況を言葉にする、思いを聞き取り仲介するなどの援助をする。

自分の力を発揮するとともに、友達との関わりを楽しみ、遊びが充実していく。

<4 歳児後期>

- ◎友達との関わりやつながりを楽しみ、思いを伝えたり、相手の思に気付いたりする。
- ◎いろいろな遊びや活動に関心を持ち、自分の思いを実現する楽しさや、力を発揮する喜びを味わう。
- 思いが伝わった嬉しさを感じたり、相手の考えの面白さに気付いたりする。
- 試したり工夫したりしながら、繰り返し遊ぶ。
- 自分の力を十分に出した喜びや自信を味わう。
- 自分のすることややり方が分かり、活動に取り組もうとする。

- ☆気の合う友達との関わりや、つながりを楽しめるよう、友達同士の関係性を捉え、働きかける。
- ☆★自分の力を発揮する喜びや、成長の実感や期待を高める活動を提示する。
- ★友達と一緒に試したり工夫したりして遊ぶことを楽しめるような活動を提示する。
- ☆相手の思いに気付いたり、友達と一緒に取り組む楽しさを感じたりできるような援助をする。
- ☆★生活や身支度など必要なことに主体的に取り組めるよう、表示や環境の工夫をする。また、自分でできた喜びや満足感を味わえるよう、取組を認める言葉掛けをする。
- ☆★様々な動きを経験し、体を動かして遊ぶ楽しさや満足感を十分に味わえるような活動や場の提示をする。

5 歳児

目的や見通しをもち、友達と協力しながら遊びや生活に取り組み、満足感や充実感を味わう。

年長児としての喜びを感じ、意欲的に遊びや生活に取り組む。

<5 歳児前期>

事例 4

- ◎進級の喜びや年長児としての自覚をもち、自分の力を発揮しながら意欲的に遊びや生活に取り組んで楽しむ。
- ◎互いに思いを伝え合いながら、友達と一緒に遊びや生活を進めていく、楽しさを味わう。
- 成長の喜びや進級の実感を味わう。
- 自分のよさや自分らしさを生かしながら、力を発揮して遊びや生活に取り組むことを楽しむ。
- 自分なりの目的をもって、考えたり工夫したりする。
- 友達の姿から刺激を受けながら、遊びや生活が広がる満足感を味わう。
- 見通しをもって主体的に遊びや生活に取り組もうとする。
- 自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の考えを聞いて思いに気付いたりする。

経験・つながり深まる。自分たちで創る、友達と創っていく。みんなとだからできた！【自己肯定感が育まれていく】

- ★主体的に新しい遊具や環境に関わり、意欲的に遊びや生活を進められるよう、環境の設定や生活の組み立てを工夫する。
- ★進級や成長の喜びを感じ意欲的に活動できるよう環境を整える。
- ★年長児としての意識や喜びを感じられるような機会を工夫する。
- ★好奇心や探求心をもって様々なものに関わり、発見や比較を楽しめるような環境を構成する。
- ☆自分たちで生活を作る意欲を高められるよう、生活や安全に必要なルールを幼児に気付かせたり学級で考えたりする。
- ☆学級の中で自己発揮する場や機会を設定する。
- ☆★互いのよさや持ち味、違いを認めたり受け入れたりするモデルとして、教師が個々のよさや持ち味、頑張りを意図的に言葉や写真などで発信する。

友達と協同しながら、自分たちで遊びや生活を進めていく。

<5 歳児後期>

- ◎共通の目的に向かい友達と協力して取り組み、満足感や達成感を味わう。
- ◎成長の喜びや就学への期待を感じて意欲的に生活し、充実感を味わう。
- ◎友達のよさや持ち味を認めながら、友達とのつながりを深める。
- 今までの経験を生かしながら、友達と協力して、遊びや生活を進めていこうとする。
- 継続したり、発展したり、挑戦したりしながら、遊びを進める充実感を味わう。
- 友達と相談したり協力したりしながら遊びや生活を進め、互いのよさや考えを認め合おうとする。
- 成長の喜びや実感、感謝の気持ちを様々な方法で表そうとする。

- ☆友達と力を合わせてやり遂げたり作り上げたりした充実感・満足感を味わえるような活動の機会を工夫する。
- ★成長の喜びや就学への期待を感じられるよう、修了に向けての活動や小学校との交流の内容を工夫する。
- ★文字や数、自然現象、社会事象などに関心が高められるよう、掲示など環境構成を工夫する。
- ☆学級としてのまとまりが深まるよう、目的を共有する活動を工夫する。
- ☆友達のよさに着目したり、伝え合ったりする機会を作る。
- ☆充実感や満足感を十分に味わい、自信や期待をもって就学に向かえるよう、成長を振り返りながら個々の思いを丁寧に受け止め、自己肯定感を高めていく。
- ☆★自分の力を精一杯発揮したり、思い切り力を出し切ったりする充実感を味わえるような運動的活動を提示する。